



創造 協調 躍進  
文武両道

### 本校の役割と学校経営の方針

本校は、昭和55年に、高校教育のあるべき姿を追求する進学モデル校・研究開発校として創立された普通科高校である。「創造・協調・躍進」を校是とし、生徒の個性・能力に応じた教育の徹底を基本として「文武両道」を実践してきた。国公立大学への進学を希望する生徒は7割を超え、震災復興の途にある福島県に貢献したいという生徒も数多い。本校は、文武両道を追求する中から、難関・中堅国公立大学を目指すことができる確かな学力を培い、社会が必要とする良好なコミュニケーション力などの豊かな人間性の育成、たくましく生きるための健康・体力の維持・増進など、変化の激しいこれからの社会に対応する「生きる力」を備えた人材を育成する。

校長 吉田 強栄

### 重点① 学びの充実 **♪♪学ぶことは日々を新しくすること**

○シラバスに則り、「対話」型の魅力ある授業で深い学びを実現し、生涯にわたって主体的に学ぼうとする力を育てる。

○高大接続改革・次期学習指導要領に対応した指導法を研究・実践する。

○「大学進学ミッション支援事業」(県事業)を活用し、学校全体で計画的な進路指導に取り組む。

○「進路情報センター」としての進路指導室からの情報提供を充実させる。

【指標】「授業づくりラウンドテーブル」委員会を中心とする授業・カリキュラム研究 (H29・30)  
国公立大学合格者100名・大学等進学85%、家庭学習時間2時間90% (1・2学年)  
偏差値60以上50名(数学科)、3カ年の指導方針の練上げ・資格検定受験奨励(英語科)  
課題の精選、実験・ICT教材の充実(理科・芸術科・家庭科・情報科)  
主体的な学び満足度90%(H29生徒72%)

### 重点② 体育文化活動の充実 **♪♪はげしい心美しくせよ青春時代**

○生涯にわたって芸術やスポーツ、ボランティア活動に取り組もうとする姿勢を育てる。

○学習と部活動が両立できる環境を整備し、家庭学習時間を確保する。

【指標】部活動継続率90%(1・2学年)、授業・部活動中の事故防止

全国・東北での活躍(全部活動)、新体力テストA級5%向上(保健体育科)

「文武両道」の満足度90%(H29生徒76%)

### 重点③ キャリア教育の充実 **♪♪顔を上げてわれら開かれた道を行く**

○社会や文化、環境等への興味関心を高め、総合的なコミュニケーション力と生活力を育てる。

・共感できる心性 ・論理的に話し記述する知性 ・感じ考えたことを表現する身体性

○自己の生き方を考える多様な機会を用意し、夢に向かって努力し続ける校風を磨く。

○スクールカウンセラーとの連携等により教育相談を充実させ、自他の存在(命)を大切に  
生徒を育てる。

○場に応じた着こなし・挨拶の励行・情報モラルの指導を充実させる。

○自転車通交ルールに関する指導を充実させる。

○健康教育(歯・口腔の健康増進、性・食・環境・衛生等の指導)を充実させる。

【指標】「自己理解」に関する取組の充実(1学年、次年度「自己探求」につなぐ)

課題発見・課題解決力の涵養(全学年)、交通事故ゼロ、年間皆勤者300名

表現・鑑賞の推進(芸術科)、いじめ防止対策の計画的な推進

清掃奉仕活動の充実(厚生部・生徒指導部)、日常的に新聞を読む生徒80%(3学年)

読書年間5冊450名(全校)、図書貸出一人4冊(教務部・国語科)

歯科治療率100%(1・2学年 H28・1学年53%)

### 重点④ 情報発信・共有、施設の活用 **♪♪今日は明日の歴史 福島東高**

○「東高見学会」やHPを充実させ、「東高の教育」をアピールする。

○授業力向上のための授業公開、学校事故防止のための研修など、質の高い教育を実践するための情報共有を進める。

○火災、自然災害等に対する危機管理体制を整備し、生徒と東高の歴史を未来に繋ぐ。

【指標】HPアクセス数30万件、緊急連絡(mail)の確実な運用

「入学させてよかった」100%(H29保護者90%)